

# コロナ対応で第1回臨時議会開催

6月3日(水)に開かれた臨時議会では、会派を代表して木田幹事長が上程議案に対する質疑を行いました。  
 新型コロナウイルス感染症の拡大防止と経済活動の回復に関する審議でしたが、こうした補正予算を審議する臨時会は、1992年以来じつに28年ぶりのことでした。

## 議案質疑



木田 昇

### 「コロナ」後の社会を 見通した施策の展開を

#### ①令和2年度大分県一般会計補正予算(第2号)について

(1) 新型コロナウイルス感染症に係る県独自の支援策について  
 専決処分した4月の補正予算の大半は国庫支出金を財源としたもので、独自の財源を持ち出す事業はほぼ見られなかった。  
 今回上程されている補正予算案では、県の基金を大きく取り崩して独自の事業が多く組み込まれているが、知事の県独自事業に対する思いを伺う。

(答弁) 緊急事態宣言も解除されるなど、新型コロナウイルス対策は新たな局面を迎えている。財政調整用基金を思い切って活用し、経済危機を乗り越えるための積極的な対策を講じたところであり、今般の緊急対策を強力に推し進め、この困難に立ち向かっていく。

(2) SDGsに取り組み事業者等の支援について  
 「コロナ禍」の影響で、人々の価値観や行動意識に対しても大きな変化が生じ、世界的課題となっているSDGsに対する関心も高まっていると言われている。

「コロナ後」の社会を展望し、補正予算であげられた各種事業でSDGsに取り組み事業者等を支援することができないのか伺う。

(答弁) 今回の補正予算では、地域のIT技術者などが主体となり、地域課題の解決を目指すシビックテックを支援する事業や、県内のITベンチャー企業を活用し、地域の遠隔型ビジネスを支援する事業を予定している。こうした事業を通して、SDGsに取り組み事業者等を支援していきたい。

#### (3) 新型コロナウイルス対策の広報について

本県等は、外出自粛や施設の社会経済の活動レベルを引き上げようとされている。

また、国や県等においても様々な支援策が示されているが、それらの手続き等についても様々で、県民には分かりづらい状況ではないかと思う。

本県ではどういった広報に取り組むのか考えを伺う。

(答弁) 感染拡大の防止と社会経済活動の再活性化の両立に向けて、新聞・テレビに加え、SNSや動画を活用するなど様々な媒体を活用した分かりやすい広報に取り組む。

#### (4) 県高校総体について

高校野球に限らず、全国高校総体に入ってきた多くの生徒が悔しい思いをしている。

開催を延期していた県高校総体の開催が決定され、県としてどう支援していくのか考えを伺う。

(答弁) 現在、感染症防止対策の徹底を前提に、日程や競技の仕方などについて、具体的な詰めを行っている。3年生にとってはこれまでの活動の集大成の場として、また1・2年生にとってもこの大会が新しい目標となり、存分に力を発揮できるよう、県教育委員会としても支援をしていく。



## 2

### 災害時の避難所運営について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の再活性化の両立に向けて、新聞・テレビに加え、SNSや動画を活用するなど様々な媒体を活用した分かりやすい広報に取り組む。

避難者一人当たりの面積を確保しようとするれば、避難所の数を増やすことも必要だが、物理的に困難な地域も出てくるかもしれない。県は、今後どのように徹底していくのか考えを伺う。

(答弁) 感染症対策を踏まえた避難所運営訓練を実施し、受付時の手順やゾーニング等、具体的対応策について市町村や地域の自主防災組織と確認・検証を進める。県民の

#### 「コロナ禍」って何て読む？

新型コロナウイルスの感染が流行し始めると、「コロナ禍」という文字をニュースなどで目にするようになりました。

そのとき、「コロナ禍」を何て読むんだろう？と思った方も多いのではないのでしょうか。

「音読みかな」、「訓読みかな」、「なへ(銅)でもないし」、「うず(渦)でもないし」。

「禍」とは、よるこぼしにくい事柄不幸をひきおこす原因予期していかなかった災難などを意味し、音読みでは「が」、訓読みでは「わざわい」「まが」と読みます。

「禍」と「災い」の違いや、「禍々(まがまが)しい」の意味などはご自分で調べてください。

## 種苗法の慎重審議を 求める請願不採択



種苗法改正に慎重審議を求める請願は、反対理由が述べられることもなく不採択となりました。この改正案の一番の問題は、今は自由な種子の自家増殖を許諾制にし、自家増殖する場合は、新たに許諾手続きとそれに伴う費用が生じ、自家増殖しない農家は種を購入しなければならなくなることです。EUでは構造的格差や持続性を考え、穀物など主要作物の自家増殖は規制対象から外し、小規模家族農家には許諾制免除制度が導入されています。種苗法改正案は、このようなことも含めて十分議論される必要があります。

## 意見書・請願等の採択状況

### 意見書の採択状況

	県民クラブ	民主党	自由党	公明党	共産党	日本共産党	しんせい大樹会	志士の会	可否
義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可
地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可
雇用を守る取組の拡充等を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可
新型コロナウイルス感染症防止対策と社会経済活動の再活性化の両立に向けた取組の強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可
台湾のWHO年次総会へのオブザーバー参加に向けた取組を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可
国際的な犯罪の撲滅を図るため連携・強調を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可

### 請願の採択状況

種苗法改正に慎重な審議を求める意見書の提出について	○	×	×	○	×	○	○	○	否
---------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---